



# レジオネラ症にご注意！ お風呂・加湿器は清潔に

令和6年9月11日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和6年第36週分・9月2日～9月8日)

### 《インフォメーション》

#### ●レジオネラ症

レジオネラ症は河川、湖水、温泉や土壌などに広く生息しているレジオネラ属の細菌を原因とする感染症です。レジオネラ属菌は20～45℃の水中で増殖しやすく、衛生管理の不十分な公衆浴場、循環式浴槽、加湿器、大型空調室外機の冷却塔などの水環境で増殖します。それらにより発生したエアロゾルを吸入することで感染しますが、ヒトからヒトへと感染することはありません。

これまでに公衆浴場などにおける集団感染事例が数多く報告されており、最近の報告例では、昨年7月に宮城県で空調設備を原因とする集団感染が発生しています。家庭では追い焚き機能付き風呂、24時間風呂、加湿器などに付着した「ぬめり」にレジオネラ属菌が生息しやすいため、取扱説明書に従って定期的に洗浄などを行い、適切な衛生管理をおこなうことが感染対策として重要です。

近年は全国で年間2,000～2,300例程度のレジオネラ症が報告されており、50歳以上の男性の報告が多数を占めています。年間を通して発生報告がされていますが、特に夏季に増加する傾向があります。過去5年間の県内の報告数は年間36～54例で推移しており、全国と同様に、県内でも50歳以上の男性の報告が70～80%を占めています(図参照)。女性も少数ながら報告されており、50歳以上がほとんどです(表参照)。今年9月11日の時点で34例の報告がされています。

レジオネラ症の主な病型は肺炎です。2～10日の潜伏期の後に、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などを発症し、咳や38℃以上の高熱、悪寒、呼吸困難が見られるようになります。また、下痢や意識障害を起こすこともあります。治療には抗菌薬の投与を行います。レジオネラ属菌に適切な抗菌薬治療が早期に開始されないと死に至る場合もあります。このため医療機関においては、尿中抗原検出キットを用いた迅速検査を行い、適切な抗菌薬(キノロン系薬、マクロライド系薬)による治療を早期に開始することが求められます。

### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 2件 (①第35週診断分：30歳代、男性 ②30歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (10歳代、男性、O26、VT1)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (60歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 アメーバ赤痢 1件 (50歳代、女性、腸管アメーバ症)
- クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 (第35週診断分：70歳代、女性)
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (40歳代、女性)
- 破傷風 1件 (第18週診断分：90歳代、女性)

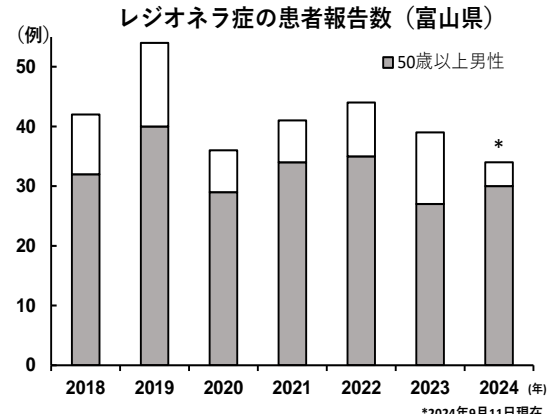
### 《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	手足口病	17.45 (↑)	9.90
2位	COVID-19	7.46 (↓)	8.85
3位	感染性胃腸炎	3.07 (↓)	3.38
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.90 (↓)	1.97
5位	ヘルパンギーナ	0.55 (↓)	0.90
	RSウイルス感染症	0.55 (↓)	0.62

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました



レジオネラ症の患者報告数(富山県)

年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024*
50歳以上	男	32	40	29	34	35	30
	女	10	7	5	2	8	3
50歳未満	男	0	6	2	5	1	1
	女	0	1	0	0	0	0
総数	42	54	36	41	44	39	34

\*2024年9月11日現在



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第36週 令和6年9月2日～令和6年9月8日）

分類	疾患	今週報告分（第36週）					累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核	1					1	11	5	27	8	38	89	
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く	1					1	7	4	14	6	22	53	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1		2	5	3	5	15	
四類感染症	E型肝炎											1	1	
	ボツリヌス症											4	4	
	レジオネラ症					1	1	3	2	9	3	17	34	
五類感染症	アメーバ赤痢					1	1					3	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							2		4		8	14	
	急性脳炎									1		1	2	
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		4	1	9	15	
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1			3	1	5	9	
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7	
	水痘（入院例）							1	1				2	
	梅毒							2		5	5	13	25	
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	破傷風									2			2	
	百日咳											1	1	
インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ		1			1	2	1,080	1,032	4,044	1,567	5,076	12,799	
	COVID-19	83	25	108	44	98	358	2,213	1,160	3,693	2,037	3,039	12,142	
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1		5	1	9	16	65	71	584	52	447	1,219	
	咽頭結膜熱	2		2	2	2	8	114	257	684	39	702	1,796	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	39	1	13	55	180	168	2,759	314	1,279	4,700	
	感染性胃腸炎	16	5	16	2	50	89	811	652	1,453	674	3,436	7,026	
	水痘				3	1	4	2	16	115	14	73	220	
	手足口病	19	29	297	12	149	506	117	363	2,043	413	1,789	4,725	
	伝染性紅斑							1		8	2	9	20	
	突発性発しん			2		2	4	9	13	107	29	96	254	
	ヘルパンギーナ	1		2	4	9	16	76	21	93	70	205	465	
	流行性耳下腺炎			1		1	2	3	1	7	2	8	21	
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										3		3
		流行性角結膜炎			1		1	2	8	2	33	5	10	58
	基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
		マイコプラズマ肺炎				1		1		5	21	4	8	38
感染性胃腸炎（ロタウイルス）					1.00		0.20			1			1	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）												0	
	COVID-19による入院患者	7	4	4	7	15	37	207	151	187	222	530	1,297	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

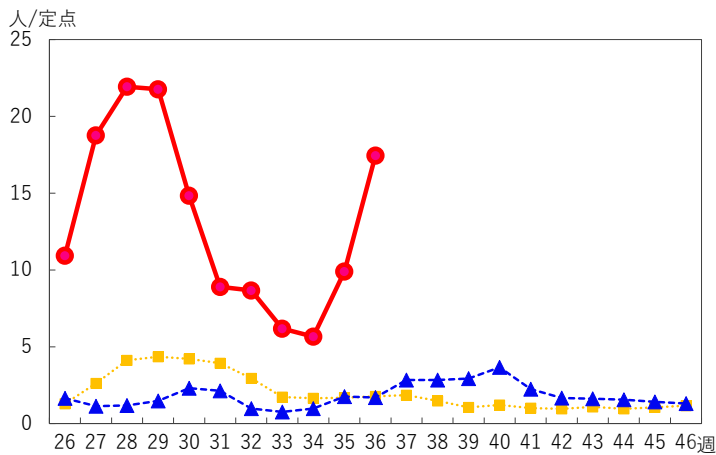
# 今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第36週（9月2日（月）～9月8日（日））

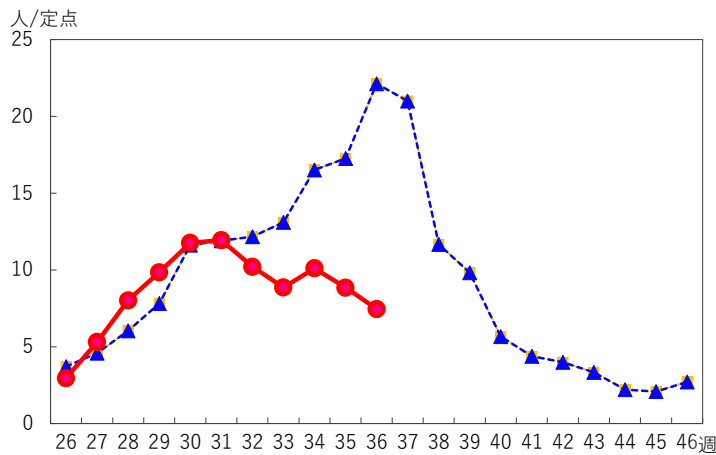
9月11日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

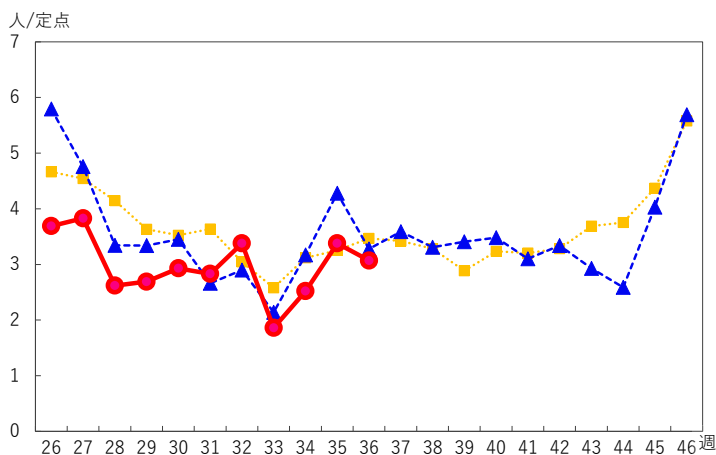
## 手足口病



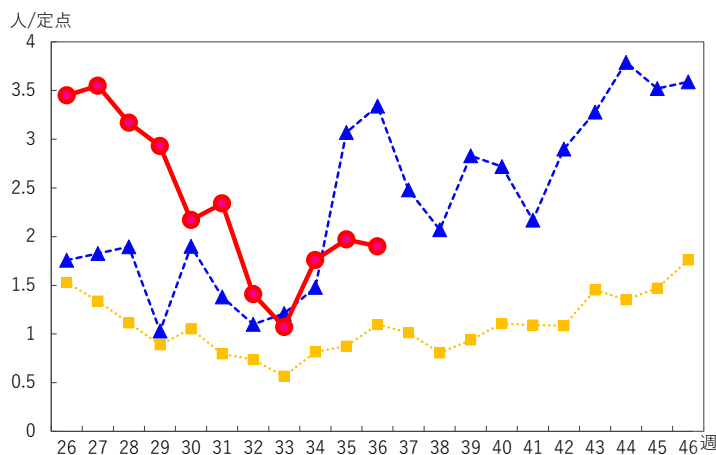
## COVID-19



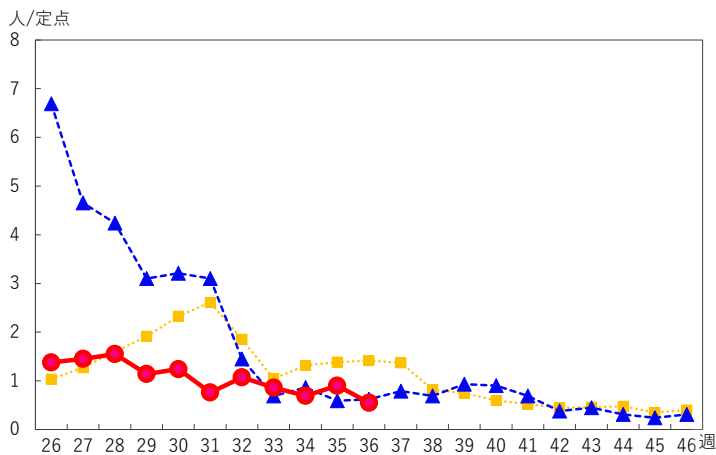
## 感染性胃腸炎



## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



## ヘルパンギーナ



## RSウイルス感染症

